

避難所運営基本マニュアル

新型コロナウイルス感染症対策編

【避難所運営の主な役割分担】

市民 (自主防災組織)	(1) 避難所運営の実施主体 (2) 避難者、地域住民への情報の伝達 (3) 本部に要請する食料及び物資の取りまとめ (4) 在宅避難者の把握及び支援
学校	(1) 市と連携した避難所の開設 (2) 学校の施設管理 (3) 小学校の給食施設での炊き出しの支援
三島市 (現地配備員)	(1) 避難所の運営支援 (2) 市災害対策本部への報告及び要請 (3) 施設管理者(学校)と協力した避難所の開設・閉鎖 (4) 避難所の避難者及び在宅避難者の取りまとめ

令和4年3月

三島市

(避難所)

新型コロナウイルスへの感染リスクが伴う状況において、災害が発生し避難所を開設する際には、感染症対策に万全を期すことが大切です。

「避難所運営基本マニュアル（本文）」などに加えてこのマニュアルをご参考いただき、避難所での感染症対策の徹底に活用してください。

避難者や避難所運営に従事される方（自主防災組織）の避難所での感染予防・感染拡大防止のため、施設管理者（学校）や現地配備員（市職員）と連携を図り、避難所の開設・運営にご協力ください。

また、以降に記載する事項は避難所における新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止対策を記載していますが、風水害時における乳児を抱えた家族の避難や高齢者・障がい者の避難など状況に応じて、命を優先した柔軟な対応をお願いします。

【策定の経緯】

第1版 令和3年3月策定

第2版 平成4年3月改訂

目 次

【本 文】

内 容	ページ
目次	2
1 平常時における準備	3
2 避難所の開設	4
3 避難所開設時の対応（※風水害等の短期避難を想定）	8
4 避難所生活時の対応（※地震等の長期避難を想定）	8
5 避難所運営従事者の体調管理	11
6 感染予防具の脱ぎ方	12
7 避難所運営における服装について	14
【資料編】	15
資料1 健康状態チェックシート	16
資料2 避難所受付レイアウト（案）	17
資料3 健康状態チェックシート（専用スペース入室用）	18
資料4 避難者健康チェックシート	19
資料5 避難所衛生グッズ一覧	20
資料6 災害時の衛生管理の方法	22
資料7 熱中症予防のために	24
資料8 厚生労働省リーフレット 手洗い	25
資料9 厚生労働省リーフレット 咳エチケット	26
資料10 厚生労働省リーフレット 感染症対策	27
資料11 厚生労働省リーフレット 3密回避	28

1 平常時における準備

(1) 避難所対応時の準備物

避難所対応を行う際は、衛生管理のため以下の物品が必要となる。

平時より可能な限り準備し、避難所運営に従事される方は自分自身の感染予防のため、開設時に持参する。

準備物	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 上履き(スリッパ・靴下) <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 飲み物
-----	---

(2) 避難スペースの区分の検討

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、避難者の避難スペースを区分する。

発熱者等・濃厚接触者	<input type="checkbox"/> 校舎内などの発熱者等スペース、濃厚接触者スペース（専用スペース）に避難する。（あらかじめ避難所運営会議にて決定） <input type="checkbox"/> 定期的な換気のため、窓が1か所以上ある場所が望ましい。 <input type="checkbox"/> 体調の優れない避難者と他の避難者の動線は可能な限り重ならないようにし、専用の階段やトイレを確保する。 <input type="checkbox"/> 飛沫感染防止のため、パーティションを活用する。 <input type="checkbox"/> やむを得ず同室にする場合は、仕切り等を活用し、他の人との距離を保つ。 <input type="checkbox"/> 床に横になるのが難しい場合はコンパクトベッドを活用する。
高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦等（要配慮者） 持病がある人	<input type="checkbox"/> 要配慮者用居住室や女性専用スペースに避難する。（柔剣道場や校舎内の指定の場所） <input type="checkbox"/> 持病がある人等は病人用居住室等を活用する。 <input type="checkbox"/> 床に横になるのが難しい場合はコンパクトベッドを活用する。
その他の避難者	<input type="checkbox"/> 避難者同士が密になることを避けるため、広いスペースに避難する。（通常避難場所として使用している体育館など）



パーティション

(各避難所収容可能人数分備蓄)



コンパクトベッド

(各避難所5台備蓄)

2 避難所の開設

(1) 服装

避難者を受け入れる際は、以下のものを着用し、感染予防を行う。

フェイスシールド、使い捨て手袋は受付時に利用し、マスクは常に着用する。

【服装の詳細については「7 避難所運営における服装について」を参照】

必要な衛生用品	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋 <input type="checkbox"/> フェイスシールド(眼鏡やゴーグルでの代用可) 【再利用】 ※脱ぎ方については「6 感染予防具の脱ぎ方」を参照
---------	--

【マスクが必要な場面】

▶ 全ての生活場面 (咳やくしゃみ、会話時に唾が飛ぶのを防ぎ、相手を感染させないため)

【使い捨て手袋が必要な場面】

- ▶ 吐物や排泄物、ウイルスが沢山ついている可能性の高いものに触れる場合
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムなど手が荒れやすいものを使う作業をする場合
- ▶ 手のケガしている場合や、手荒れがひどい場合
- ▶ 調理や配膳をする時

*使い捨て手袋を着用していても、こまめなアルコール消毒は必要です。

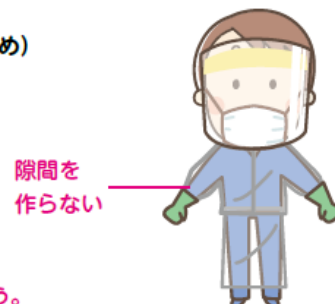
P.3「手洗い・アルコール消毒のタイミング」を目安に、忘れないよう注意しましょう。

【感染予防着 (ガウン) が必要な場面】

- ▶ 感染者や症状のある人の介護や介助をする場合
- ▶ 吐物や排泄物などを掃除する時に、しぶきが飛んでウイルスが身体につく可能性が高い場合

【フェイスシールドが必要な場合】

- ▶ マスクをしていない人と近い距離で話す必要がある場合
- ▶ 吐物や排泄物などを掃除する時に、しぶきが飛んでウイルスが顔につく可能性が高い場合



新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック 2020年5月29日発行 (第2版)

認定NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 避難生活改善に関する専門委員会

(2) 避難者受入れ準備

避難所を開設することとなった場合、下図を参考に各避難スペースのレイアウトの検討を行う。

レイアウトのポイント	<input type="checkbox"/> パーティションを活用し、1世帯 (大人2人・小人2人) あたり約4.4㎡(2.1m×2.1m)のスペースを確保する。 <input type="checkbox"/> 他の世帯とはソーシャルディスタンス(社会的距離)を保つ。 <input type="checkbox"/> 一方通行等、避難者同士の動線をあまり交差しないように設定する。 <input type="checkbox"/> 定期的に換気ができるように、ドアなどの前に物を置かないようにする。
------------	--

(3) 受付（総合・専用スペース・集合スペース）の設置

避難者の健康状態を確認するため、各受付を設置する。

受付設置時に必要な資器材	<input type="checkbox"/> 台(机等) <input type="checkbox"/> 非接触型体温計① <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋① <input type="checkbox"/> マスク① <input type="checkbox"/> フェイスシールド① <input type="checkbox"/> アルコール消毒剤① <input type="checkbox"/> ガウン① <input type="checkbox"/> 【資料1】健康状態チェックシート① <input type="checkbox"/> 【資料3】専用スペース受付チェックシート① <input type="checkbox"/> 筆記用具② <input type="checkbox"/> 避難世帯カード（様式編様式1）② ①…避難所衛生グッズ内 ②…避難所運営グッズ内
--------------	--



避難所衛生グッズ（コンテナ）



マスク・手指消毒液・手袋等

(4) 受付の対応方法

受付は感染症の拡大を予防するために重要であり、総合受付、専用スペース、集合スペースの受付、誘導は5～6名必要なことから、参集した自主防災組織が受付を行い、現地配備員（市職員）は支援する。

【資料2】避難所受付レイアウト(例)

●総合受付（マスク・フェイスシールド・使い捨て手袋着用）

- ①健康状態チェックシート（資料1）を避難者が確認できる場所に掲示する。
- ②健康状態チェックシートで確認してもらい、症状のある方に順番を待たずに受付に申し出るよう呼びかけ、ⅠからⅢをする。
- ③高齢者、障がい者、妊婦など、要配慮者を優先し、ⅠからⅢをする。
- ④その他の避難者についてⅠからⅢをする。
 - Ⅰ 避難者がマスクをしているか確認し、していない場合は1枚渡す。
 - Ⅱ 非接触型体温計で測定する。
 - Ⅲ アルコール消毒液で避難者の手指を消毒してもらう。



健康状態チェックシート・総合受付



総合受付・検温



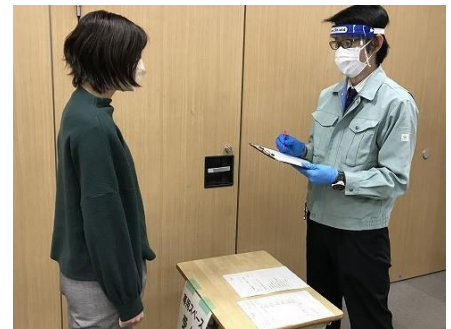
ソーシャルディスタンス（2m）



風水害時の総合受付（例）

●専用スペース受付（マスク・フェイスシールド・使い捨て手袋着用）

- ①総合受付後、発熱者（37.5度以上）等、濃厚接触者の専用スペース受付を校舎の入口または専用スペース付近に設置する。
- ②どのような症状があるか、専用スペース受付チェックシート（資料3）を使用し、聞き取る。
- ③避難世帯カードを渡し、記入後に回収する。
（集合スペースに家族がいればそちらに記入）
- ④必要に応じて誘導係による誘導を実施する。
（マスク・フェイスシールド・使い捨て手袋着用）



専用スペース受付



専用スペース



飛沫感染防止（パーティション）

●集合スペース受付（マスク・フェイスシールド・使い捨て手袋着用）

- ①健康状態チェックシート（資料1）を集合スペース受付付近に掲示する。
- ②高齢者、障がい者、妊婦など、要配慮者を優先し、ⅠからⅢをする。
- ③その他の避難者についてⅠからⅢをする。
 - Ⅰ 避難世帯カードを渡す
 - Ⅱ 避難者は体育館等へ入室
 - Ⅲ 避難世帯カード記入後、回収する
（専用スペースにいる家族も併せて記入）



集合スペース受付

3 避難所開設時の対応(※風水害等の短期避難を想定)

(1) 各世帯から出るゴミの対応

短期間の避難所開設時(主に風水害を想定)に避難者が排出するゴミについては、帰宅又は閉鎖の際に各自で持ち帰る。

(2) 避難所閉鎖時の対応

警報解除等により避難所を閉鎖する際は、教育活動など平常業務を再開させるため、施設管理者の指示により避難者がよく触れる箇所(体育館等のドアノブや電気のスイッチ等)を原則現地配備員が消毒する。消毒の際は、塩素系漂白剤とペーパータオルを使用する。

発熱者等スペース、濃厚接触者スペースなど、教室等を利用した場合は、現地配備員が災害対策本部に報告し、原状回復に必要な措置を行う。

4 避難所生活時の対応(※地震等の長期避難を想定)

※以下の内容は地震等による長期避難を想定していますが、短期間の避難においても症状を訴える方が避難した場合によっては同じ対応を実施します。

(1) 毎日の健康確認

避難者は毎日検温や健康チェックを行い、避難者健康チェックシート【資料4】を記入する。

体調が優れない避難者が出た場合は、病人用居室や発熱者等スペース等に移動し、現地配備員が災害対策本部に連絡し、今後の対応を協議する。

(2) 避難所の衛生管理の徹底

感染予防のために衛生管理を徹底する。

手洗いや消毒、咳エチケットの徹底
・厚生労働省作成のチラシを避難所内に掲示し、避難者へ手洗いや消毒等を徹底する。 ・避難者だけでなく、避難所の運営に携わる人もこまめな手洗いや消毒、咳エチケットを徹底する。
定期的な換気、掃除の実施
・30分に1回程度、避難スペースを換気する。 ・定期的に掃除を行う(掃除のポイントは下記参照)
ソーシャルディスタンス(社会的距離)の確保
・生活スペースはパーティションを活用し、1世帯(大人2人・小人2人)あたり約4.4㎡(2.1m×2.1m)のスペースを確保する。 ・通路等、その他のスペースについては、間隔を2m程度確保する。
各世帯から出るゴミの処分
・各世帯にゴミ袋を配布し、世帯ごとにゴミをまとめる。 ・世帯ごとにまとめられたゴミは口を縛り共同のゴミ箱に捨てる。
避難スペースの表示

- ・発熱者等スペース、濃厚接触者スペースには、その他の避難者が近づかないよう表示する。

＜掃除のポイント＞

- ◇掃除は塩素系漂白剤水溶液による拭き掃除を基本とする。
 - ◇掃除の前後には必ず手洗い・アルコール消毒をする。
 - ◇居住スペースは1日1回、塩素系漂白剤水溶液（約200ppm）に浸したペーパータオルで拭き掃除をする。
 - ◇ドアノブや手すり等の共有部分は1～2時間に1回程度、塩素系漂白剤水溶液（約200ppm）で拭く。
 - ◇トイレはできるだけ頻繁に掃除をする。
 - ◇吐物や便を処理するときは塩素系漂白剤水溶液（約1000ppm）を使用する。
- ※塩素系漂白剤水溶液の作り方は資料6参照

感染症対策へのご協力をおねがいします

手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

厚生労働省 国民生活センター

感染症対策へのご協力をおねがいします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ほかの人にうつさないために
 くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれないので、次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とせの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。

3つの咳エチケット

正しいマスクの着用

厚生労働省 国民生活センター

感染症対策へのご協力をお願いします

感染症対策

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

②咳エチケット 3つの咳エチケット

正しいマスクの着用

厚生労働省 国民生活センター

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの密を避けましょう!

①換気の悪い**密閉空間** ②多数が集まる**密集場所** ③間近で会話や発声をする**密接場面**

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日本の生活の中で3つの「密」が重ならない工夫をしましょう。

3つの条件がそろう場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

厚生労働省 国民生活センター





(3) 避難所運営の協力

避難所の開設が長期になった場合、自主防災組織をはじめとする避難者は「3密の回避」や「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」等を徹底した上で、避難所運営に協力する。

9. 主にその他一般人（Dゾーン）に協力してもらうこと

避難所運営は、あらゆる場面で人手不足になりがちです。これを補うために、避難者の中で動ける人には、「3密の回避・手洗い・咳エチケット・換気」などを厳守した上で、自ら健康管理を行ってもらい、避難所運営に協力して頂ける方には、以下に留意して参加してもらいましょう。

避難所運営に協力して頂く際のメニュー例

役割	内容
トイレ・手洗い場の掃除係 	作業前 ▶手洗い・アルコール消毒をする。 ▶感染予防着（マスク、使い捨て手袋、ガウン、フェイスシールド）を着る。 トイレ掃除をする時の装備 
	作業 ▶次亜塩素酸ナトリウム液に浸したペーパータオルで、便器・ドアノブ・鍵・洗浄レバー、手洗い場（蛇口、洗面台）を拭く。 ▶ゴミの処理。 ▶消毒液やトイレットペーパー等の補充。
	作業後 ▶脱いだ感染予防着をゴミ袋に入れて口を縛り、ゴミ集積場へもっていく。 ▶手洗い・アルコール消毒をする。 ※便器に吐物や下痢の跡があれば、避難所運営スタッフへ報告する。
食事配給係 	作業前 ▶手洗い・アルコール消毒をする。 ▶マスク・使い捨て手袋をつける。
	作業 ▶作業台や配膳箱などを次亜塩素酸ナトリウム液を浸したペーパータオルで拭く。 ▶配膳箱に食事を入れ、新しいゴミ袋（生ごみ用も用意する）を用意する。 ▶部屋またはブロックのリーダーに渡す。 ※リーダーは所定の位置に入れ物を置き、手洗い・アルコール消毒の後で一人ひとり取りに来るよう指示を出す。食べ終わったら各自でゴミは分別しゴミ袋へ入れる。 ▶配膳箱とゴミ袋を回収。 ▶ゴミ袋はまとめて集積場までもっていく。
	作業後 ▶使い捨て手袋を脱いで、手洗い・アルコール消毒する。
換気係 	作業前 ▶手洗い・アルコール消毒する。 ▶マスク・使い捨て手袋をつける。
	作業 ▶「今から換気をします」と声かけをする。 ▶窓と出入口を開ける（窓が1つしかない場合は、扇風機かサーキュレーターを窓側に向けて回す）。 ▶数分経ったら窓を閉める（換気時間は状況に応じて対応。30分に1回程度を目安に行う）。
	作業後 ▶使い捨て手袋を脱いで、手洗い・アルコール消毒する。



- 作業前**
- ▶ 手洗い・アルコール消毒する。
 - ▶ マスク・使い捨て手袋をつける（汚れがひどい場所を掃除する時は感染予防着を着用する）。
-
- 作業**
- ▶ 玄関、廊下などを清掃する。
 - ▶ 特にドアノブ・テーブル・椅子・スイッチ・エレベーターのボタンなど、人の手がよく触れる共用箇所は、入念に次亜塩素酸ナトリウム液に浸したペーパータオルで拭く。
 - ▶ ゴミ箱が一杯になったら袋の口を縛り、集積場までもっていく。
- 作業後**
- ▶ 使い捨て手袋（または感染予防着）を脱いで、手洗い・アルコール消毒する。



コラム



13 新型コロナウイルスの生存期間

米国の国立アレルギー・感染症研究所や、香港大学などのグループが、もしも消毒できなかった場合に、いろいろな物質の表面についたウイルスがどのくらい残っていたかを研究したところ、次のような結果でした。

銅	段ボール	ステンレス	布	プラスチック	ガラス
4～8時間	24時間	3日	2日	3日	4日

消毒液がない、または段ボールなど消毒できない素材のものを、感染者が使用したり触ったりした場合は、上記を目安に他の人が触れないよう注意しましょう。



- 作業前**
- ▶ 手洗い・アルコール消毒する。
 - ▶ マスク・使い捨て手袋をつける。
-
- 作業**
- ▶ 届いた物資を品物ごとに仕分けする。
 - ▶ 全体の品物・数量を管理する。
 - ▶ 避難所ごとの管理ルールに基づき、物の出し入れをする。
-
- 作業後**
- ▶ 使い捨て手袋を脱いで、手洗い・アルコール消毒する。

新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック 2020年5月29日発行（第2版）

認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）避難生活改善に関する専門委員会

5 避難所運営従事者の体調管理

(1) 避難所運営従事前

避難所運営に従事する前には必ず検温し、体調が悪い場合は現地配備員へその旨を伝え、避難所の運営に携わらないようにする。

(2) 避難所運営従事中

定期的に検温を実施し、途中で体調が悪くなった際は速やかに現地配備員へその旨を伝え、避難者等とは直接関わらないようにする。

(3) 避難所運営従事後

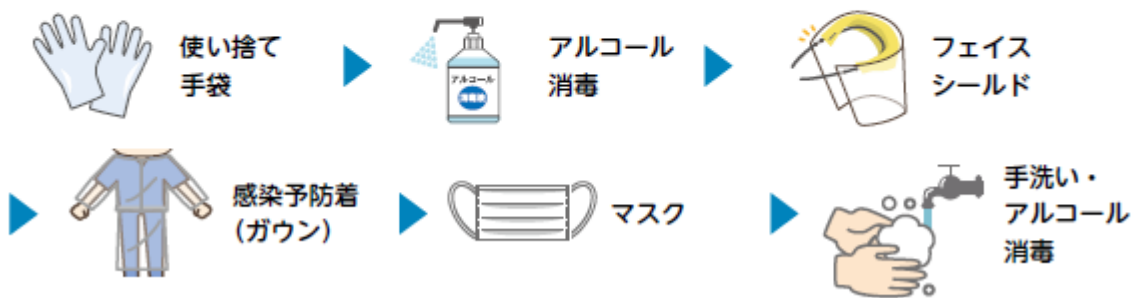
避難所対応後は検温や自身の健康管理を行うとともに、新型コロナウイルス感染症を疑うような体調の変化があった場合は、発熱者等受診相談センター（TEL：050-5371-0561）に相談する。

6 感染予防具の脱ぎ方

感染予防具の脱ぎ方

汚染されている外側の表面を素手で触らないこと

脱ぐ順番

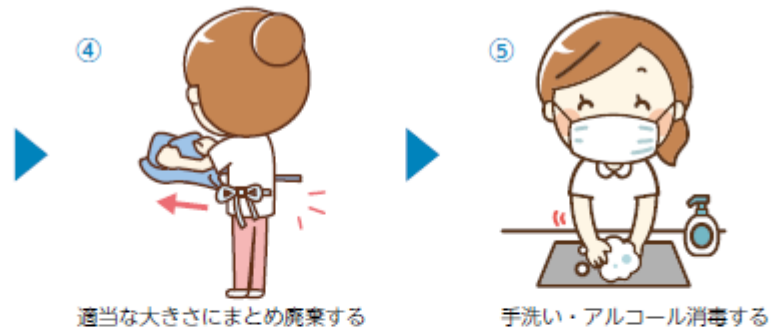


使い捨て手袋の脱ぎ方

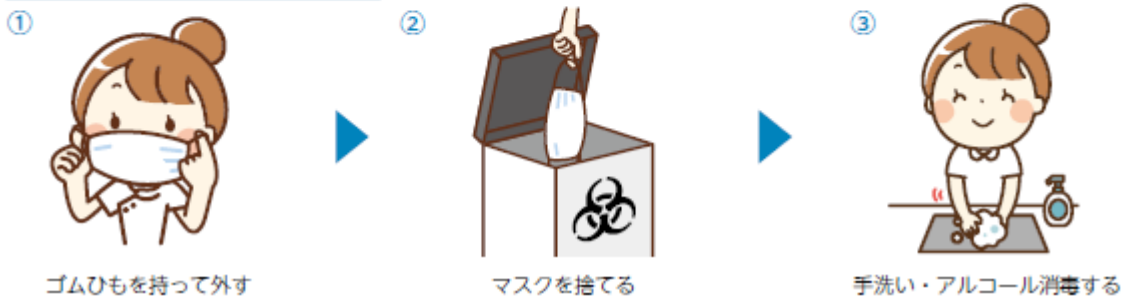


感染予防着(ガウン)の脱ぎ方





マスクの脱ぎ方



新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック 2020年5月29日発行（第2版）

認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）避難生活改善に関する専門委員会



保健師による指導
（現地配備員避難所開設訓練）

7 避難所運営における服装について

	マスク	眼の防護具 ※1	使い捨て手袋 ※3	掃除用手袋 ※3、4	長袖ガウン ※5
避難所受付時の応対	○	△ ※2	○		
清掃、消毒	○	○		○	
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンでの応対 ※6	○	○	○		
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	
軽症者等ゾーンでの応対 ※6	○	○	○		
軽症者等ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	○
ゴミ処理	○	○		○	○
リネン、衣服の洗濯 ※7	○	○		○	
シャワー・風呂・トイレの清掃	○	○		○	○ ※8

※1 フェイスシールド又はゴーグル。(目を覆うことができる物で代替可(シュノーケリングマスク等))

※2 スタッフの個々が担当する内容に応じて使用する。(例: 受付で連続して同じ人が複数の避難者に対応する際は着用する。単発的に、短時間(一人15分以内)で接する際は着用不要。)

※3 手袋を外した際には、手洗いを行う。使い捨てビニール手袋も可。

※4 手首を覆えるもの。使い捨て手袋・使い捨てビニール手袋も可。(複数人での共用は不可)

※5 医療用ではないので、ゴミ袋での手作り、カッパでの代用も可。

※6 保健・医療活動は、保健師、看護師、医師が行う。

※7 体液等で汚れた衣服、リネンを取り扱う際の装備。

※8 撥水性のあるガウンが望ましい。

出展：内閣府 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した
避難所開設・運営訓練ガイドライン(第3版)

資料編

- 【資料 1】 健康状態チェックシート
- 【資料 2】 避難所受付レイアウト（案）
- 【資料 3】 専用スペース受付チェックシート
- 【資料 4】 避難者健康チェックシート
- 【資料 5】 避難所衛生グッズ一覧
- 【資料 6】 災害時の衛生管理の方法
- 【資料 7】 熱中症予防のために
厚生労働省リーフレット
- 【資料 8】 手洗い
- 【資料 9】 咳エチケット
- 【資料 10】 感染症対策
- 【資料 11】 3密回避

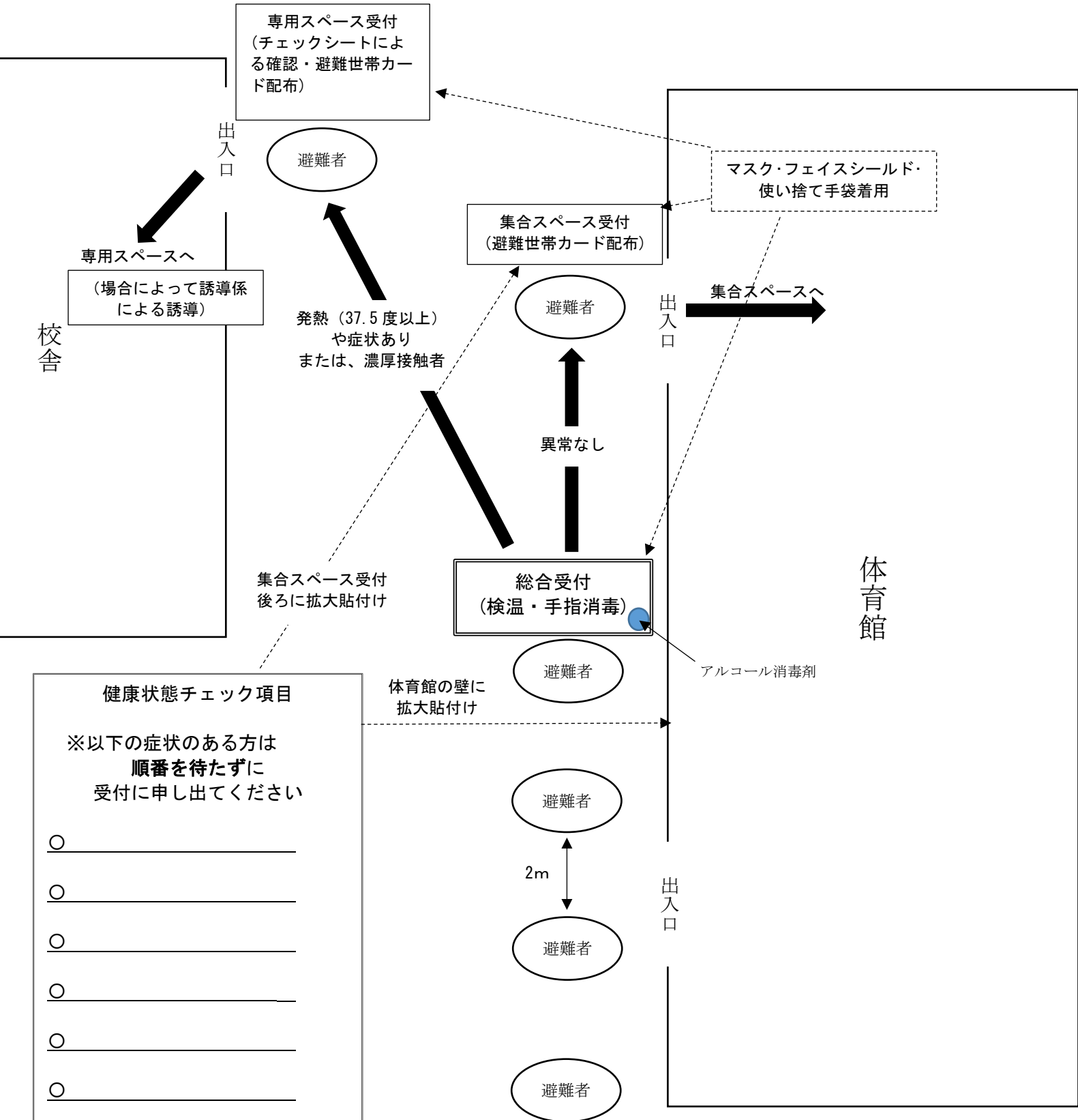
健康状態チェックシート

※以下の症状のある方は
順番を待たずに申し出てください

- 保健所等から濃厚接触者であるといわれていますか
- 発熱はありますか
- 風邪の症状が数日間続いていますか
- 強いだるさ・息苦しさはありますか
- 激しい咳症状がありますか
- 味覚(あじ)・臭覚(におい)の障害はありますか
- その他気になる症状はありますか

資料 2

避難所受付レイアウト案



資料 3

記入日： 年 月 日

専用スペース受付チェックシート

氏 名

1 保健所等から濃厚接触者であるといわれていますか	はい ・ いいえ
上記で「はい」と回答した方へ 経過観察期間の終了予定日はいつですか	月 日

◆現在の体調について

2 発熱はありますか	はい ・ いいえ
3 風邪の症状が数日間続いていますか	はい ・ いいえ
4 強いだるさ・息苦しさはありますか	はい ・ いいえ
5 激しい咳症状がありますか	はい ・ いいえ
6 味覚(あじ)・臭覚(におい)の障害はありますか	はい ・ いいえ
その他気になる症状はありますか	はい ・ いいえ
<p>「はい」の場合 いつから：</p> <p style="text-align: center;">どのような症状：</p>	

※ 1で「はい」の方は、濃厚接触者として、「濃厚接触者スペース」へ案内

※ 2～6で「はい」の方は、発熱者等体調不良者として、「発熱者等スペース」へ案内

避難者健康チェックシート

氏名(ふりがな)	年齢

(避難所名:)

	／ (月) (火) (水) (木) (金) (土) (日)						
	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
体温測定	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
	昼	昼	昼	昼	昼	昼	昼
	夜	夜	夜	夜	夜	夜	夜
息苦しさ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
におい・味	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せき・たん	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
だるさ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)	はい・いいえ (症状)
チェック欄							

資料 4

避難所衛生グッズ一覧

No.	名称	数量	備考
1	サージカルマスク(50枚入り)	10箱	計500枚
2	使い捨て手袋(100枚入り)	2箱	計200枚
3	袖付きガウン PE袖付きエプロン(10枚入り)	2組	計20枚
4	シューズカバー	25足	
5	フェイスシールド(10個入り)	2組	
6	塩素系洗剤(次亜塩素酸含)1500ml	1本	キッチンハイター
7	ごみ袋市指定ゴミ袋 45ℓ(20枚入り)	4袋	計80枚
8	ペーパータオル(手拭用)200枚	5束	計1,000枚
9	非接触型体温計(電池)	1本	
10	アルコール手指消毒剤 1000ml	3本	
11	薬用ハンドソープ キレイキレイ泡タイプライオン 250ml	4本	
12	薬用ハンドソープ キレイキレイ(詰替)泡タイプ 800ml	1本	
13	ウェットティッシュ 90枚入り	3個	
14	境界線テープ(養生テープ)	2、3巻	
15	健康状態チェックシート(拡大)	2枚	クリアーケース
16	避難所受付レイアウト(案)	1枚	クリアーケース
17	発熱者等スペース、濃厚接触者 スペース表示	各1枚	クリアーケース
18	発熱者等トイレ、濃厚接触者トイ レ表示	各2枚	クリアーケース
19	厚生労働省リーフレット(4種類)	各1枚	クリアーケース
20	専用スペース受付チェックシート	20枚	リングファイル
21	専用スペース受付用手板	1枚	
22	感染症への対応Q&A (自治体向け)	1式	リングファイル
23	避難者健康チェックシート	300枚	リングファイル

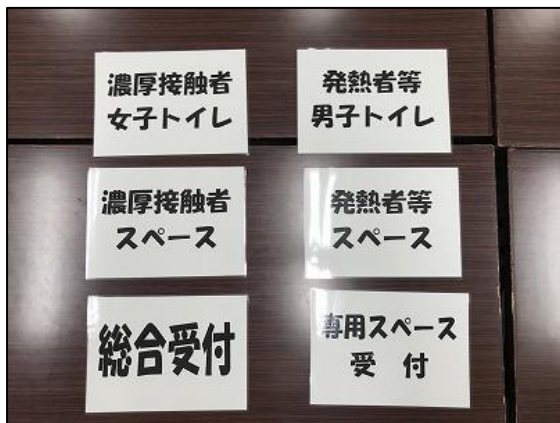
避難所衛生グッズ



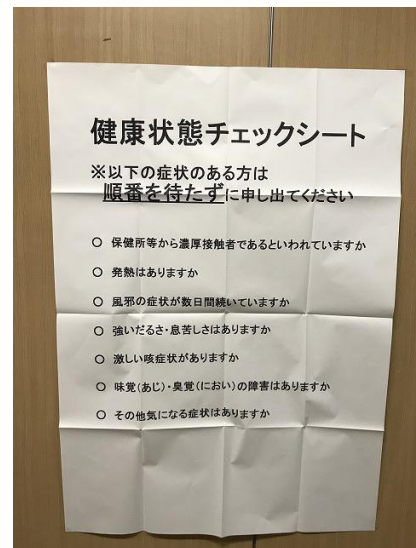
避難所衛生グッズ（コンテナ）



マスク・手指消毒液・ガウン等



避難所各スペース表示



健康状態チェックシート

感染症対策用備蓄品



ワンタッチパーティション



コンパクトベッド

災害時の衛生管理の方法

1. 感染症予防のポイント

(1) 換 気

- 避難所では、狭い空間で多くの人が生活するため、空気がよどみがちになります。同室の人と話し合い、定期的に空気の入れ換えをしましょう。

(2) 清 掃

- 避難所では掃除機などを使うことは困難な場合があります。
- 新聞紙を細かくちぎって、水にぬらして床へ撒き、ホコリがたたないようにして1日に1回は清掃しましょう。

(3) マスクの着用

- 風邪などの感染症予防のため、マスク（ハンカチでも代用可）でのどの保護をしましょう。せき・くしゃみの際にはハンカチなどで口と鼻を押さえ、他の人から1メートル以上はなれましょう。

(4) 手洗い

- 感染症予防には手洗いが一番ですが、災害時には水の確保が困難です。作業時の手袋の着用は手の汚れと怪我を同時に防いでくれます。
- 消毒用アルコールが配給された場合には使用を周知しましょう。
- 手や体を清潔に保てるよう、避難用品の中にウエットティッシュを入れておくとよいでしょう。

(5) ゴ ミ

- ゴミは決められた場所に分別して収集しましょう。
- ゴミの処理が不適切だと、ハエなど害虫の発生につながります。決められた場所に、分別してビニール袋に入れ廃棄しましょう。

(6) 消 毒

- 感染症を予防するためには、トイレやゴミの集積場、また、吐物などで汚染された場所の消毒が重要です。

(7) トイレ

- トイレ利用のルールを作り、みんなで守りましょう。
- 当番を決めて、定期的に清掃・消毒を実施しましょう。



ピューラックス

2 消毒液の作り方

防災倉庫のピューラックスや家庭にある塩素系漂白剤を利用し、消毒液を作ることが出来ます。一般的な家庭用の塩素系漂白剤の塩素濃度は、5～6%です。

【消毒液の調製の注意点】

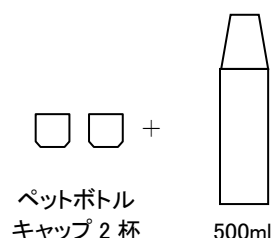
- 塩素系の漂白剤は酸性の物質と混ぜ合わせると、塩素ガスが発生し大変危険です。絶対に酸性の物質と混ぜ合わせないでください。
- 調製時には、必ずゴム手袋を着用してください。

【嘔吐物・糞便が付着した床、衣類の漬け置き用の消毒液の濃度（約1000ppm）】

[消毒液の作り方]

- ①キャップ2杯分の塩素系漂白剤（約10ml）を500mlのペットボトルに入れます。
- ②水を肩口まで入れ50倍の水溶液を作ります。
- ③キャップを閉めて、よく振り混ぜます。

- ・出来上がった消毒液をジョーロなどに入れ、汚染された場所にまいた後、ふき取ります。
- ・汚染した衣類等は消毒液に漬け込んだあと洗濯します。
- ・作業時はマスク（ハンカチ可）などを着用してください。

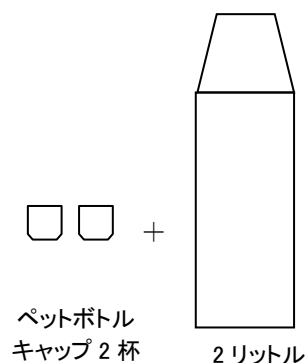


【まな板、食器・器具類、トイレの便座、ドアノブ、手すり、床用の消毒液の濃度（約200ppm）】

[消毒液の作り方]

- ①キャップ2杯分の塩素系漂白剤（約10ml）を2ℓのペットボトルに入れる。
- ②水を肩口まで入れ250倍の水溶液を作る。
- ③キャップを閉めて、よく振り混ぜる。

- ・食器・器具類：消毒液に10分程度付漬け込んだあと水洗いします。
- ・まな板など：ティッシュ等に消毒液を含ませて消毒します。
- ・ドアノブ・テーブルなど：消毒液を染み込ませたタオル等で拭きます。



間違って飲まないようペットボトルの取り扱いには注意しましょう
ペットボトルには、**消毒液・飲用不可**等の表示をしっかりと！！

熱中症予防のために

熱中症とは

高温・多湿な環境で体の水分や塩分のバランスがくずれて、体温調節が働かなくなり、体内に熱がたまり、筋肉痛、大量の発汗、吐き気、倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害が起こります。

避難所のような狭い空間にたくさんの方が集まった場合、屋外だけではなく、室内でも発症する事があります。また、就寝中や夜間にも起こる場合があります。

熱中症にならないために

- 水分補給：こまめに水分を取りましょう。

（多量の汗をかいた場合は塩分の補給も必要です。）

子どもや高齢者の方、障害がある方はのどの渇きを感じなくても、時間を決めて補給をしましょう。

イオン水やミネラルウォーターなどの飲料水ならさらに良いです。



- 室内環境の調整：定期的な換気や扇風機を利用して室温を調整し、室温が上がりにくい工夫をしましょう。

- 衣服などの工夫：通気性、吸湿性、速乾性のある衣服を身につけましょう。

局所冷却剤など熱中症対策グッズを利用して、適切な体温調節をしましょう。

屋外では、日傘、帽子を着用しましょう。

- マスクの着用：屋外で人と2m以上離れているときはウイルス感染対策を忘れずにマスクをはずしましょう。



注意とお願い

- 体調の変化に気をつけましょう。
- まわりの人が協力して、水分補給など熱中症予防を呼びかけ合いましょう。
- 子どもや高齢者の方、障がいのある方については、周囲の人が注意して見守るようにしましょう。

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

詳しくは、厚生労働省HP「熱中症関連情報」

[厚生労働省 熱中症](#)

[検索](#)

感染症対策へのご協力をおねがいします

！ 手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのばすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



厚生労働省 検索



感染症対策へのご協力をおねがいします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを手でさえる

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う 2 ゴムひもを耳にかける 3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省

厚労省 検索





感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの時に
-爪は短く切っておきましょう
-時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをこみ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのばすようにこすります。



3 親指・爪の側を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをぬじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる



何もせずに
咳やくしゃみを
する

咳やくしゃみを
手でおさえる



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う



2 ゴムひもを
耳にかける



3 隙間がないよう
鼻まで覆う



厚生労働省

厚労省 検索



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避け ましょう!

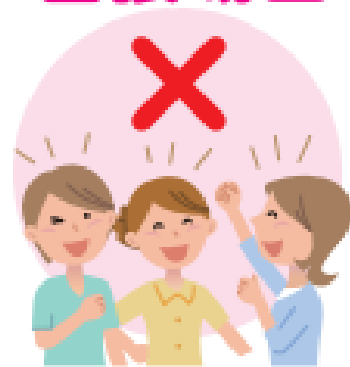
①換気の悪い
密閉空間



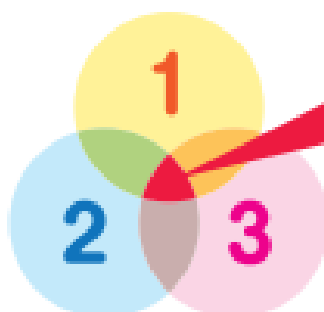
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



厚生省 コロナ

検索

